

## 第5回史跡めぐり 令和二年十月二十五日

### 『富沢古道と桃園定輪寺、 連歌師宗祇の足跡を探る』

第5回史跡めぐりは、定輪寺のある桃園地区の南側に隣接する富沢地区の古道から愛鷹神社、富沢にとって大切な水源である「不動の湧水」を巡り、続いて宗祇の弟子であった宗長が残した「宗祇終焉記」に記録されている、当時の定輪寺と宗祇の埋葬の地を眺めることを目的に実施いたしました。

宗祇の墓所は、いつの時か埋



▶「宗祇の墓所、中央に五輪塔が見える」

(定輪寺への移転前)  
(昭和34年10月撮影)

葬の地からすでに定輪寺本堂前に移転され、その後昭和42年の東名高速道路の開通に伴い、現在のような形に整備されてきたようです。

私たちは、「宗祇終焉記」に記した墓所が、現在どのような姿になっているかを知りたい。きつかけを探るため、地元富沢在住で裾野市文化財保護審議会会長である田口達一様のご協力をいただくことができました。

宗祇終焉記には、「…寺の山門の少し引込んだ所で、水が流れ、杉、梅、桜の木のあるあたりに亡き骸を納めて…松を一本植え、卵塔を建て飯の垣根をめぐらせた…」と記されています。

また、その後の記述として「駿河志料」に宗祇法師300年忌（1802年）の記録が残され、「定輪寺裏二三町ほど入りて宗祇洞と字する地あり、…」と記されています。

私たちは、これらの歴史的



▲「桃園山定輪寺 山門」(裾野名所 絵葉書より)

された五輪塔や常夜塔の様子を見ることができました。また、昭和29年5月、三島市沢地の童沢寺僧侶が宗祇の墓所を訪れ、不二農園(不二聖心)をまわる写真に、富士山の姿が撮られていました。

記述に、田口様から提供されました東名高速道路開発前の墓所の様子を写す、昭和34年4月に撮影された「宗祇の墓所」絵葉書等から、埋葬の地として定輪寺の後方に見える東名高速道路の橋脚付近に宗祇が埋葬されたのではないかと確信を高め、そこに建立

した。東名高速道路の開通後は、桃園定輪寺境内及び周辺の自然環境や集落の様子も大きく変わっていることから、現在宗祇埋葬の地としての墓所の位置を確定することは難しいと考えています。しかし、今川氏と宗祇及び定輪寺との関係、桃園、富沢及び三島宿への古道、残された石造物等から、宗祇が東常縁から「古今伝授」を受けるためこの地を訪れ、そして埋葬の地として「富士の見える地」として、宗長がこの桃園山定輪寺を選んだ心境を知るきっかけとなったと思っています。



宗祇法師の墓 (裾野名所 絵葉書より)

#### お知らせ

#### 總會のご案内

◎日時／4月18日(日) 午後1:30より

◎場所／東西公民館3階 会議室1、2

\*コロナ禍のため中止の場合はご連絡します。

#### 会員募集中

裾野市宗祇法師の会ではともに活動して下さる方、または会員として後方から支えて下さる方を募集しています。

※お知り合いなどご紹介ください。

詳しくは [裾野市宗祇法師の会](#) [検索](#)

または、お電話で 090-4851-1804(勝又まで)

#### 予告

令和3年は宗祇法師生誕600年の節目の年となります。当会ではこれを記念して百韻奉納(詳細は未定)、講演会を予定しています。

#### 講演会のお知らせ

#### 心を紡ぐ連句の世界(仮題)

◎日時／令和3年10月30日(出) 14:00~

◎場所／裾野市民文化センター 多目的ホール

◎出演／長谷川權(俳句)、小島ゆかり(短歌)、三浦雅士(文芸評論)

文芸界随一の三人がこの日のために巻いた歌仙を軸に、言葉の饗宴を楽しく分かりやすく、披露してまいります。楽しみにお待ち下さい。